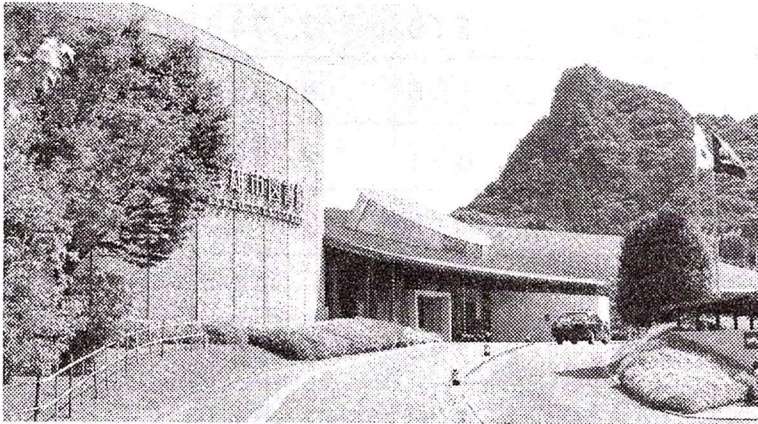


多賀城  
新図書館

# 企画・設計段階でのCCCへの提案依頼はやめよ

7/30 全員協議会で藤原市議が主張



## 武雄図書館、高さ3メートルに児童書がズラリ

日本共産党多賀城市議団は、24日午前伊万里市図書館、午後武雄市図書館、25日午前、指定管理から直営に戻した小郡市の図書館を視察して来ました。以下は武雄市図書館を見ての感想です。

- ①まず高い書架に圧迫感を感じました。個人差もあるのですが、解放感と対極にある施設に、少なくとも「いつまでもいたい」とは思えませんでした。
  - ②座って閲覧できる場所も少なく、「座りたい方はスタバにどうぞ…」と誘導されているようで不愉快に感じました。
  - ③一番びっくりしたのは、高さ3メートルのところに児童書がズラリ…。「いったいこの本は飾りなのか、読んでもらいたいのか…」と疑問に思いました。そして隅に追いやられた読み聞かせの場所…。子どもがとても粗末にされているように感じました。
  - ④それは子どもに対してだけではなく、新聞コーナーも奥に追いやられていました。
  - ⑤二階の回廊式の30メートルにわたる高さ4メートルの高架書架の一番上は張りぼて。上から二段目には『朝日新聞』の縮刷版。ご存知のとおり、新聞は、妹尾河童さんがそれを使って『少年H』を書いたように、実証的に歴史を検証するにはとても大事な資料です。それが高さ3.7メートルのところにズラリ。やはり活用して欲しいというよりも飾りにされている感じです。しかも「高所の書籍をお入用の方はスタッフにお申し付けください」と張り紙があるのですが、二階にはスタッフはいませんでした。
  - ⑥書店としても雑誌中心で、中途半端に思いました。そもそもあのスペースに書店とカフェのスペースを設けること自体が無理だったように思います。
- いろいろ問題を感じましたが「なぜマスコミが無批判にもちあげるのか…」と思いつつ帰途についた次第です。

藤原 益栄

藤原益栄市議は次のように発言して、雑誌売り場とレストランにたざしました。

「①連携協定に関する7月9日の市長発言、②連携協定の③11日の記者会見での市長発言は、確かに本市への『葦屋書店の新店』と『駅前まちづくりでの企画提案』という内容で一貫している。しかしCCC側は主に図

書館について発言しており、雑誌売り場とレストランなど、武雄の図書館をさらにカフエのある図書館（同社ネット配信記事）『レス・トランで酒も』（『朝日新聞』7/12付）など到底考えられないものである。しかし、11日に提示された新図書館の6枚のペースを見ると、三階ぶち抜きで三階にわたる高架書庫、一階は

「図書館の中にレストランをつくるなどあり得ない」レス・トランを利用できる図書館という意味だと思おうなどとCCC側を擁護する答弁が繰り返されました。

藤原市議は「①武雄市図書館、②CCCの公式発表文書、③CCC発表の6枚のペースをみれば、図書館についてCCCが何を考えているか明白だ。図書館に意見を求めるべきではない」と再度主張しましたが、市側は答弁を避けました。

7月30日午後3時より多賀城市議会全員協議会が開会され、多賀城市とカルチュア・コンビニエンス・クラブ（CCC）との連携協定締結までの経過、および連携協定の内容等について質疑が行われました。党市議団では主に藤原市議が質疑を行いました。

# 多賀城民報

題字は池田和京さんにご揮毫いただきました。

日本共産党  
多賀城市議団

多賀城市留ヶ谷一丁目11番23号  
代表(364)3222  
FAX(309)3910

◇弁護士による  
**法律相談**

◇申込  
電話で予約して下さい。  
◇電話  
364-3222  
◇相談日  
8月5日(月)  
8月21日(水)  
◇時間  
午後1:30～  
◇場所  
旧阿部福商店となり塩釜県民の会事務所

◇議員による  
**暮らしの相談**

電話  
藤原益栄議員  
368-6623  
070-6497-6623  
佐藤恵子議員  
367-0182  
090-2027-9884  
柳原きよし議員  
368-1883  
090-2605-4984  
戸津川はるみ議員  
090-7528-2075

21日、第23回参院選の投票が行われた。日本共産党は、全国では356万票から159万票増の515万票となり、比例で5議席を獲得。選挙区では東京、大阪、京都で勝利し、3から8へ躍進した▼みんなの頭張りて本市での比例得票は1971票から1077票増の3048票へ。民主党が前回の7899票から4933票減の2966票となったため、自民(8954票、公明(3952票)に比べ3位となった▼今回は、32歳の小高洋さん(比例)をはじめ若い候補が目立ち、勝利した東京(吉良佳子さん30歳)、大阪(辰巳孝太郎さん37歳)の選挙区候補も若く、日本共産党の未来を感じさせるものだった▼だが喜んでばかりもいられない。自民(65議席)、維新(8議席)、みんな(8議席)など、改選勢力が大幅に増えたことともに、今後憲法は最大の問題となつてゆくだろう。日本共産党の頭張り時である▼以前もふれたが、今年が多賀城に日本共産党の議員(尼ヶ崎晋之助さん)が誕生して50周年の区切りの年。ちょっとだけは躍進の余韻に酔わせていただいで、さあ頑張るぞ!

### 東風城目